

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	みよし市	代表者名	小野田 賢治
担当者部署	デジタル化推進室	連絡先電話番号	0561-32-2111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	芳村 達史
住所	470-0295 愛知県みよし市三好町小坂50		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	時間が不足する中で、模擬ワークショップを開催していただき、質問の背景や進め方の考え方、注意点などを織り交ぜながら進行していただきました。
アドバイザーへの要望事項	特に要望はありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月26日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	庁内職員のDX人材育成の一環として、ワークショップの実施を検討しているが、DXの考え方が新しい考え方であり、その考え方に沿ったワークショップの開催手法を検討する必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DX人材育成の一環として開催するワークショップの進め方や考え方を、実際に模擬ワークショップを行いながら取得する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	実際に模擬ワークショップを実施していただきながら、質問の背景や進め方、注意点などを教えていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	実際に職員向けにワークショップがすぐに開催できるかは分からないが、DX人材育成として行うワークショップの考え方などは知識として取得できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	人材育成のカリキュラムの作成までは至らないが、DX人材育成の1つの手法としてのワークショップの開催手法は取得することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	実際のワークショップ開催については、外部ファシリテーターで実施するのか、内部ファシリテーターで実施するのか未検討。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実際に模擬ワークショップに参加した他部署の職員は、わかりやすく進められ、注意点などもアドバイスしてもらえたので、考え方や進め方が理解できた、という感想をもらっています。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	庁内職員のDX人材育成の一環として、ワークショップの実施。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

